

新潟県循環器病対策推進計画と 新潟県地域保健医療計画との 一体化等について

新潟県福祉保健部

次期計画策定にあたっての課題

- ✓ “新潟県循環器病対策推進計画”と“新潟県地域保健医療計画”の両計画の内容が重複している
 - 計画それぞれの目標が「脳血管疾患、心疾患による年齢調整死亡率の減少」
 - それぞれの計画に「予防」や「救急搬送体制の整備」、「医療提供体制の整備」、「リハビリテーション」に関連した記載がある
- ✓ 住民や関係者から見ても2つの計画があることで県施策が分かりにくいものとなっている

計画概要

新潟県循環器病対策推進計画

根拠法令：循環器病対策基本法

計画期間：2年（R4～R5）

策定目的：循環器病の予防並びに循環器病患者等に対する保健、医療及び福祉に係るサービスの提供に関する状況、循環器病に関する研究の進展等を踏まえ、当該都道府県における循環器病対策の推進に関する計画を策定

検討会議体：新潟県循環器病対策推進協議会

第7次新潟県地域保健医療計画

（5疾病・6事業）

根拠法令：医療法

計画期間：6年（H30～R5）

策定目的：地域の実情に応じて、当該都道府県における医療提供体制の確保を図るために策定

検討会議体：医療計画WG

次期計画策定にあたって

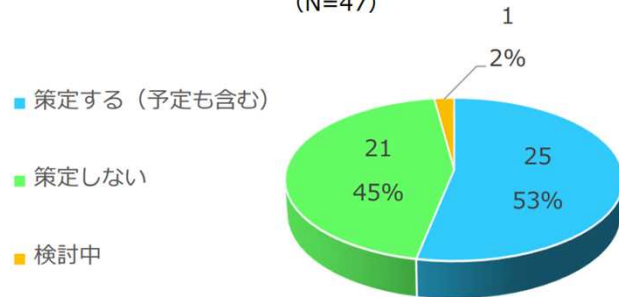
- ✓ 循環器病対策推進計画と地域保健医療計画を一体的に策定
 - 新潟県地域保健医療計画内に「新潟県循環器病対策推進計画」を収載
 - 地域保健医療計画に収載の必要がある「脳卒中」、「心筋梗塞等の心血管疾患」の項目は新潟県循環器病対策推進計画を参照とする
- ✓ 現・新潟県循環器病対策推進計画を基本とし、大幅な変更は行わない
 - 現計画はR4～5年度の2か年計画であり、策定から日が経っていないため、次期(R6～11)の策定にあたっては必要部分を修正するのみとする。

医療計画と各計画との一体的策定状況について

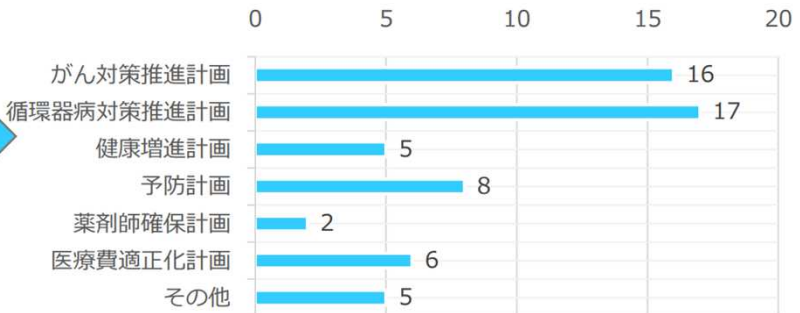
- 医療計画と各計画との一体的策定状況について、令和5年7月時点の状況を確認したところ、予定を含めて策定している都道府県の割合は53%（25都道府県）となっている。
- 一体的なものとして策定している計画を見ると、「循環器病対策推進計画」が最も多く、次に「がん対策推進計画」が多い。
- 一体的に策定する目的を見ると、「職員の負担軽減」及び「住民からみた計画のわかりやすさ」が多かった。

医療計画と各計画との一体的策定（予定も含む）

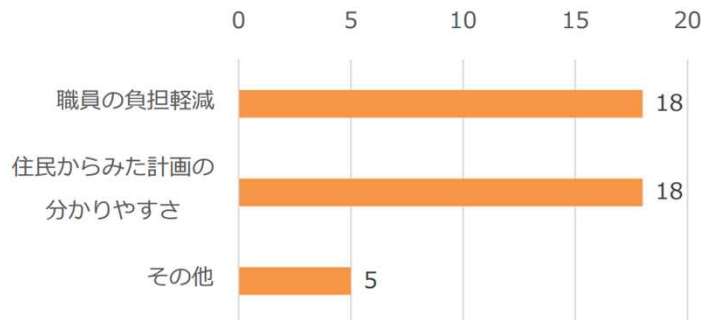
(N=47)



一体的に策定している（予定も含む）計画（複数回答可）



取組の目的（複数回答可）



その他の内容

- 医療審議会等でも説明することにより、幅広い意見を聴いて計画を策定することができる
- 医療計画と個別計画との調和を図ることへの意識付け
- 計画間の整合性確保

医療計画と他の計画との一体的策定の事例②

広島県保健医療計画（計画期間：6年）

関連計画との一体的な策定について

- 令和6年度に健康、医療・介護、地域共生社会分野に係る分野別計画の斉改定が予定されている。改定にあたり、県民及び関係職種の方にとっての「わかりやすさ」を向上し、理解を深めるとともに、3つの視点（複数の計画における重複部分の整理、関連計画の整理及び記載事項の削減、絞り込み）により計画の策定方法等の見直しを行う。

一体的に策定する計画（イメージ）



見直しの内容

- がん対策推進計画及び循環器病対策推進計画は、がんや脳卒中などの5疾病に対する方策の記載を必須とする「保健医療計画」と多くの内容が重複しており、「保健医療計画」に包含し一体的に策定する。
- 「保健医療計画」のがん対策、脳卒中对策、心血管疾患対策の部分を、がん対策推進計画及び循環器病対策推進計画として位置づける。
- 医療の効率的な提供の推進を施策の1つの柱とする医療費適正化計画は、「保健医療計画」と多くの内容が重複しており、「保健医療計画」に新たに章立てすることにより一体的に策定する。
- 「保健医療計画」の新たな章立て部分を医療費適正化計画として位置づける。

期待する効果・課題

【期待する効果】

- 計画を1つにすることにより、計画をわかりやすく県民等へ周知することができる。
- 策定作業の効率化。

【課題】

- 関連計画の整理や計画に記載する事項の絞り込み及び削減に係る調整。